

平成 30 年流山市教育委員会議第 6 回定例会会議録

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 26 日 (火曜日)  
開会 午前 10 時 00 分  
閉会 午前 11 時 10 分
- 2 場 所 おおたかの森小学校 会議室
- 3 出席委員 委 員 長 杉浦 明  
委員長職務代理者 浅井 真由美  
委 員 宮田 義則  
委 員 堀内 博  
教 育 長 後田 博美
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 学校教育部長 前川 秀幸  
生涯学習部長 飯塚 修司  
生涯学習部次長兼生涯学習課長 恩田 一成  
教育総務課長 根本 政廣  
学校施設課長 大塚 昌浩  
学校教育課長 遠藤 由樹  
指導課長 西村 淳  
スポーツ振興課長 寺門 宏晋  
公民館長 中西 直人  
図書・博物館長 小栗 信一郎
- 7 事務局職員 教育総務課長補佐 鈴木 貴之  
教育総務課庶務係長 矢代 薫  
教育総務課学童クラブ運営係長 中條 愛  
教育総務課学童クラブ運営係 中山 広生

## 8 議案等

なし

## 9 議事の内容

(開会 午前 10 時 00 分)

杉浦委員長

ただいまから、平成 30 年流山市教育委員会議第 6 回定例会を開会します。  
まず、平成 30 年流山市教育委員会議第 5 回定例会の会議録をお配りしておりますが、ご意見、ご指摘がございますか。

(特になし との声あり)

杉浦委員長

特になしということですので、承認することにいたします。  
それでは、教育長報告をお願いします。

後田教育長

それでは、5月の教育委員会議以降の内容について、ご報告させていただきます。はじめに、

① 第 2 回定例会は、6/7 開催され、6/27 に閉会いたします。今議会における教育委員会に対する質問について、報告します。

(1) 教育について、児童・生徒、保護者等から寄せられている意見、要望及び対応策、また、南流山小学校校庭の拡張工事及び南流山中学校武道場吊天井改修計画の保護者への説明、おおぞら学童の指導員の確保や冷房装置の整備について。

(2) あすなろ学童クラブの外階段の安全性、学童クラブ支援員の処遇改善と確保策について。

(3) 高齢者と子どもの交流の場所を創るべき見解について。

(4) 色覚の特性に配慮したチョークの小中学校への導入について。

(5) おおたかの森スポーツフィールド及び駐車場の拡張について。

(6) 学校施設の劣化・破損等に対する点検や修繕の対応について。

(7) 小中学生の荷物の重量化に伴う健康影響と対策、児童の急増対策について。

(8) 民設学童クラブに対しての対策、学童クラブの質を高めるための支援や方策について。

(9) 学童保育について、平成 30 年 5 月に発表された児童・生徒推計値及び想定値、また、ゼロトレランス方式について。

- (10) 市内中学校における姉妹都市の信濃町での林間学校の取り組みについて、私立幼稚園に定員オーバーで入れないことについて、教職員の労働状況について。
- (11) 市内小中学校校舎の詳細診断の結果と築60年の江戸川台小学校の状況について。
- (12) いじめ防止アプリの導入について。
- (13) コミュニティスポーツリーダー会について、小中学校図書館司書の配置について。
- (14) 「特別の教科道徳」での道徳性の記述式評価について、学習指導要領の改定に伴う教員の指導時数増による負担増について。

などがありました。予算を伴うものについてはこれから計画を立てたり予算を計上したりしなくてはなりません、すぐ取り組めるものとしてまず、色覚の特性に配慮したチョークは、インクルーシブ教育の趣旨もありますので、市内の全小中学校で取り入れることにしました。小中学生の荷物の重量化については、校長会では、不必要なものは学校に置いておく等、児童・生徒に意見を聞いて対策を考えるようにしております。また、先ほどの「ゼロトレランス」とは、細かなルールを決め、そのルールに基づいて授業を行うという方式ですが、この方式のようにこれはいけない、あれはいけない、といった指導をしているのではないかと、という質問があり、そのようなことは全くない旨お話ししました。最後に、いじめ防止アプリ「ストップイット」について、これは柏市や野田市で取り組んでいるものですが、流山市においても、納入業者による講習会を受ける等の条件が整い次第、今年中には導入できるよう進めたいと思っています。これにより、スマホ、SNSによるいじめ等の把握になるのではないかと考えています。

② 6/5 平成30年度の成人式の実行委員会発足式が、生涯学習センター（エルズ）で開催されました。28年度より会場をキッコーマンアリーナにしたことで座席不足は解消されましたが、引き続き、ご家族の方々にもご覧いただける成人式となることを願っています。委嘱状交付の後、役員を選出やテーマ、今後の取り組みなどについて話し合いました。詳細につきましては、担当課長より補足してください。

③ 6/7 流山市コミュニティプラザで、流山市小中学校健歯優良児コンクールが開催されました。小学校の部では、男子1席に、東小学校6年の萩原准世君、女子1席には、八木北小学校6年の石原凜佳さん、中学校の部では、男子1席に西初石中学校3年の高橋拓人君、女子1席には、東深井中学校3年の山田麗

奈さんが選ばれました。また、図画の部では、最優秀賞に、小山小学校3年の大井芽愛さん、ポスターの部では、最優秀賞に、鯖ヶ崎小学校6年の奥津理南さんと常盤松中学校3年の鏑木美希さんがそれぞれ選ばれました。

④ 6/18には、東小学校で県教育庁東葛飾教育事務所の指導室計画訪問が開催され、千葉県教育委員会の指導の重点や施策などについて、全体会、教科ごとの分科会で説明がありました。

⑤ 流山市教育委員会の計画訪問を6/22長崎小学校で開催しました。本年度の流山の教育の指導の重点の説明と、授業展開後、分科会ごとに協議と指導を行いました。

なお、6/25おおたかの森中学校、6/26おおたかの森小学校、6/29東深井小学校、7/3流山北小学校、7/10北部中学校で今学期中の計画訪問を実施する予定です。

⑥ 6/25、26常盤松中学校において、日本オリンピック委員会主催のJOCオリンピック教室が開催されました。オリンピック講師として、2008年北京大会、2016年リオデジャネイロ大会水泳競技で出場の山口美咲さんと1998年長野大会、2002年ソルトレイク大会、2006年トリノ大会スケートショートトラックで出場の勅使河原郁恵さんに、運動と授業をしていただきました。

報告事項は以上です。

杉浦委員長

ただいまの教育長報告に対しまして、質疑、意見等がありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

杉浦委員長

特にないようですので、以上で教育長報告については、終了いたします。本日は、議案が付議されておりませんので、各課等報告に移ります。スポーツ振興課長お願いします。

スポーツ振興  
課長

(第27回流山ロードレース大会について報告)

公民館長

(公民館事業について報告)

<p>図書・博物館 長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>(秋元家住宅土蔵の国登録有形文化財への登録について報告)</p> <p>(成人式について)</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>(大阪北部地震時のブロック倒壊による女子児童死亡事故を受けての市内小中学校のブロック塀点検実施について)</p>
<p>杉浦委員長</p>	<p>以上の各課等報告への質疑、意見等がありましたらお願いします。</p>
<p>杉浦委員長</p>	<p>通学路における民家の塀が危ないところもあるのではないかと、ということが話題になっていますが、そうした場所に対してはどのような対応をしているのですか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>現在、建築住宅課で、民間のブロック塀については調査する方向で動いています。基準に合わない場合は指導・改善を求めていくということで、教育委員会とは別で動いています。</p>
<p>杉浦委員長</p>	<p>例えば、危険なブロック塀が通学路にあった場合は、場合によっては通学路を変更することも今後出てくるのですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今、都市計画部には別途早急に、通学路で目視でも例えば亀裂が入っていたり、傾いていたりといった箇所があれば、学校に報告してくれるよう依頼しています。明らかに危険なものについては、通学路を変更したり、場合によっては近寄らないような措置をする等、民間の建物や塀ですので、地域の方々の協力を得ながらやっているところです。</p>
<p>浅井委員</p>	<p>速やかな点検ありがとうございました。塀とは別の話になりますが、大阪の地震は時間的に登校の途中に起こりました。その場合、学校に来る子、家に帰る子さまざま、学校としては近い方に行くように、という指導をされているかと思うのですが、家に帰ってきた場合にその連絡をしたくても、学校への電話がつかない等あると思います。そのあたりは指示がされているのでしょうか。</p>

学校教育課長 通学路の途中で地震が起きた場合は、東日本大震災の時もそうでしたが、電話が通じなくても一斉メールが使用できる可能性が大きいので、それによって安否の確認をし、今、学校に導入しているメールは個別に返事をもらうこともできるので、それで確認しながら、ということになると思います。

後田教育長 今の件は、児童・生徒の安全性に関わることで、重要なことだと思います。市も、部署においての仕事の分担がありますので、連携をとり、通学路にあたっているものはどのような対応をするか等協議しているところですが、先ほど浅井委員がおっしゃったように登下校時の場合については、やはり改めて避難訓練の際に、想定できることについてどうするか、を指導しなければなりません。登校班での登校ですので、班長さんの動きを見ることがありますが、やはり最終的には個人の判断にならざるを得ないものかと思えます。100%安全を確保できるかは分かりませんが、抽象的な指導ではなく、塀の近くを通っている時に地震がきたら塀から離れる、というように、具体的な指導をしていかなければならないということが1点、そして各学校が把握している情報、危険性については、民家も含めて情報を収集して対応するという2点を行っていきたいと思います。状況によっては通学路の変更もせざるを得ないかと思えます。地震が発生して何かが起きてから対応する、という形が多いので留意していきたいと思いますが、大人がついているわけではありませんので、一般的に安全と言われていることが流山市内の学校における現状で現実性があるかどうかをよく精査し、その上で子どもたちには、最終的には自分の身は自分で守る、という指導をすることだと思います。学校は今のところは建物として一番安全ではないかと思えます。これだけ地震の多い国ですので、さまざまな訓練の機会を通して指導にあたっていきたいと考えます。できれば専門の方のご指導もいただきながらやっていけたらと思っています。

杉浦委員長 そのほか、何かございますか。

(特になし との声あり)

杉浦委員長 特にないようですので、各課等報告についての質疑を終了します。その他協議する事項がありましたらお願いします。

教育総務課長	<p>学童クラブの現状と今後の整備計画について、ご説明させていただきます。</p> <p>流山市では、共働きの子育て世代を中心に人口の増加傾向が続いており、地域によって学童クラブの需要が急増しております。こうした中、本市では、学童クラブの保育環境の確保に取り組んで参りたいと考えており、そのための方策について今後の対応方針が固まりましたので、担当よりご説明をいたします。</p>
学童クラブ運営係長 杉浦委員長	<p>(学童クラブの現状と今後の整備計画について説明)</p> <p>本件について、質疑、意見等ありましたらお願いいたします。</p>
堀内委員	<p>学童クラブの設置場所については、校舎内のほか、学校敷地内、学校近隣地とあります。先ほどの地震の話の絡みもあるのですが、そうした学校外の施設の安全性は、学校とは少し基準が違うと思うのですが、いかがなのでしょう。厚い対応をしていただいているのは非常にありがたく、必要でもありますので、止むを得ないところもあるのだと思いますが、場合によっては基準も確認していただく必要があるのではないかと思います。</p>
学校施設課長	<p>まず学校の施設についてですが、ガラスにはフィルムを貼ったり、強化ガラスを使ったりして対応しています。校舎については既に耐震補強がされています。また、中学校の武道場の吊り天井については一昨年から改修工事を進めており、非構造部材の落下についても対応しております。テレビや家具の転倒等についても、日頃から先生に点検していただけるようチェックリストを作り、危ない箇所の認識とその対応等も考えていただいています。</p> <p>学童クラブの施設につきましては、基本的には昭和56年以降の新耐震といわれる建物になっています。校舎を使っているところも耐震補強されておりますので、構造的には問題ありません。新しく造るものにつきましても、基本的には建築基準法等の法令上、特に問題ないと考えております。</p>
後田教育長	<p>東葛飾教育事務所の所長訪問というのがあり、我々の指導上の留意点や指導内容を指導していただくのとは別に、施設や安全面を中心とした点検が行われます。その中では、転落防止のために基本的に廊下側の窓は開かないようにする、等の指導のほか、地震によるテレビの転倒等についても全て点検されます。設備をきちんと整備していくことと、それを運用する側でどうするかという両</p>

面で児童・生徒の安全を守っていくことを考えています。学童クラブは教育委員会に移管されていますので、そうしたことを学童クラブにも適用していく必要はあるだろうと思っています。

杉浦委員長

平成30年におおたかの森小学校に400人規模の学童の新設が予定されている、とのことですが、ここは学校隣接地であって学校の敷地ではないのですか。

学校施設課長

あの場所は、もともとおおたかの森小中学校を造る時、学童クラブを建設する用地として用意されたところでしたが、建設されなかったので今まで駐車場として利用してきたということで、学校の敷地には含まれてはいません。

杉浦委員長

学童の待機児童はいるのですか。

学童クラブ運営係長

現在、1～3年生までは、年度当初に入所したいという児童については、待機のないように教室を借用しているので、待機児童はないという形になっています。ただ、4～5年生については、優先児童で定員がいっぱいになっているところについては、あきらめる方も中にはいらっしゃいますが、待機児童として待ちたいという方については、待機児童として高学年で発生しています。

杉浦委員長

では現実に、4年生以上の子で学童に来ている子はいるのですね。

学童クラブ運営係長

はい、施設で定員に空きがあるところについては、4年生以上も受け入れをしております。

杉浦委員長

小山小の、民設民営のえどがわ学童クラブは、他のところと比べると在籍の数としては極端に少なく見えます。新しいパターンで造られたものだと思うのですが、もったいない気がします。

学童クラブ運営係長

やはり今まで小山小学校に併設されていた学童クラブに通っていた児童は、どうしても同じところに通いたいということで、そのまま持ち上がる形が多い傾向があります。現在えどがわ学童クラブに入所している児童は1年生が多く、来年、再来年と新たに入所する児童により、増加していくのではないかと見込んでおります。その他、高学年で入りたいという申し出があった時に、学

校併設の学童クラブはっぱいなことから、えどがわ学童クラブをご案内し、入所していただいているような状況もあります。

杉浦委員長 学童というのは同じ学校の子どもというのは決まりなのですね。

学童クラブ運営係長 安全に登校できることが前提ですので、その小学校に通っている児童はその小学校区にある学童クラブに通うことになります。

杉浦委員長 その他協議する事項はございますか。

指導課長 先ほど教育長報告にもございました、常盤松中学校でのJOCオリンピック教室について、昨日と今日で行われておりますが、昨日の様子が本日の千葉日報に掲載されましたのでお配りしております。このような形で、競泳の山口選手と子どもたちは楽しく交流しました。本日はスピードスケートの勅使河原選手との交流ということで、2年生が2クラスずつ行われているとのことでした。

もう1点報告として、前回でもお伝えしましたが、部活動のガイドラインについて、流山市の教育委員会のホームページにアップいたしました。8月31日までを周知期間・移行期間として、各学校で運営方針・活動計画を作成し、学校のホームページに作成するという手順を踏むように進めているところです。

杉浦委員長 それでは次回の教育委員会議について、事務局からお願いします。

教育総務課長 次回の教育委員会議は、7月31日（火曜日）、午前10時からとしたいと思いますが、いかがでしょうか。場所については後日お知らせします。

(次回の日程協議)

杉浦委員長 それでは、次回の教育委員会議は、7月31日（火曜日）、午前10時から開催することとします。

以上で、平成30年流山市教育委員会議第6回定例会を終了します。

(閉会 午前11時10分)